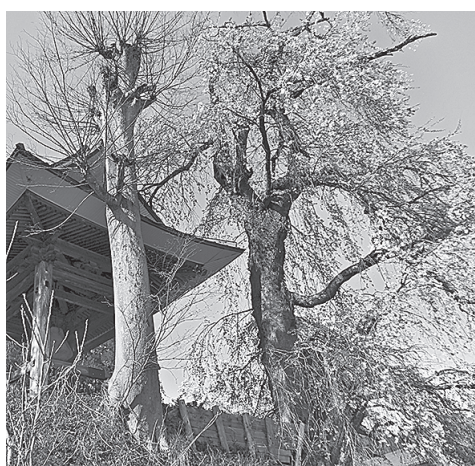


終戦70年 体験を語る

⑤



伐採されずに残り、称名寺の鐘楼に寄り添うようにして花を咲かせる桜

長野県北部、信濃町すと、今でも悔しくて、資の不足を補うため、富濃の称名寺の鐘楼に「仕方がない」。首を大国家総動員法に基づいて昭和16年に公布されは73年間、石の鐘がきく横に振りながら語つて昭和16年に公布されつり下げられている。るのは、佐々木五七子 た金属類回収令で、身灯などの金属類が供出

つるし続ける「石の鐘」

長野・称名寺 鳴らない鐘「戦争の証」

「梵鐘が下ろされた 任職(86、写真)。

あの日のことを思い出 銃や砲弾など戦略物 根こそぎ没収された。

の回りにある金属類は

させられた。

称名寺の梵鐘が供出

されたのは、昭和17年

10月1日。当時、佐々

木住職は中学一年生、

13歳だった。「その日

は遠足だった。とても

楽しみにしていたの

梵鐘は馬に引かれて運

ばれていった。

鐘楼は倒壊防止のため、

見送りなさい」と

門徒総代の家にあ

るに引き留められた。

みんなと遠足には行け

ないし、村の人が大切

念、昭和17年10月」と

してきたお鐘は戦争

刻まれた。



記録に「大東亜戦争完遂のため」供出

福岡・鞍手組 今なお残るコンクリート製の梵鐘

鳴らない「石の鐘」 新しい鐘をつるそう きて帰って来るなら戦争は止めましょうと言 の前には、あの日から という話も出たが、「こ 鐘をつるしましょ」 た。言われるがまま、お じつと主の帰りを待っ からは戦争の証。この村 と断った。戦争のない、 国のために」と戦死し ているように榎木がそ からもたくさんの人が 平和な世の中になれ 国のために」と戦死し のままつるされてい 戦地へと送られた。お ば、またつるしたい。 ていった人のことを考 る。「あの鐘は、この 国のために」と大切な える胸が張り裂けそ 村の四方八方に鳴り響 家族が出征し、身を代 何でもかんでも思い通 う。戦争なんかするも いて、とてもいい音だ えても尽くさなければ りにやっていくのが戦 んじゃない。和を以て った。今でも耳に残っ ならないと死んでいっ 争。日本は正しいんだ 貴しとなす」。最後の の「懐かしむ。 た。『その人たちが生 と突き進み、こんな戦 言葉に力を込めた。

にとられる。あんなに 悔しかったことはない から、今でも覚えてい る」。駄々をこねて作 業が中断しないように と押し込められた部屋 から梵鐘が下ろされる のを、じっと見ていた という。

着物を着た門徒や地 域の人が下ろされた梵 鐘を囲むように並び、

一緒に集合写真を撮っ

たが、佐々木住職は悔

しさを表して踏ん張っ

て立ち、パイッと横を

向いたという。その後、

梵鐘は馬に引かれて運

ばれていった。

鐘楼は倒壊防止のため、

見送りなさい」と

門徒総代の家にあ

るに引き留められた。

みんなと遠足には行け

ないし、村の人が大切

念、昭和17年10月」と

してきたお鐘は戦争

刻まれた。



梵鐘供出の写真を懐かしんで眺める萬福寺の壬生哲雄前任職(右)と善海住職

梵鐘をつるすことで 安定する造りになって 方市・萬福寺(壬生善 海住職)の記録誌には 強風などで鐘楼が倒壊 しないよう、梵鐘をか たどったコンクリート 製の「梵鐘」をつるし た寺院がある。 福岡県中央部に位置 し、直方市や宮若市、 北九州市、鞍手郡など の寺院で組織する鞍手 組では36カ寺のうち、 27カ寺が梵鐘を供出。 このコンクリート製の 梵鐘(高さ1.5m、直径 65cm)は15カ寺がつる したという。現在も11 カ寺がその梵鐘を残し ている。 当時の記録を残す直 方市・萬福寺(壬生善 海住職)の記録誌には 「昭和17年7月17日梵 鐘供出その他金属大東 亜戦争完遂のため寺院 保有金属特別回収によ る」との記述がある。 組内寺院でつるされ たコンクリート製の梵 鐘は共通の様式で、門 徒の鋳物師が製造した という。萬福寺へは昭 和19年10月に門徒3人 によって寄贈された。 哲雄前任職(89)は当 時、寺にいなかったた め記憶していないが、 壬生住職(54)は「あく までも想像だが、梵鐘



を供出するにあたり、 の思い、平和への願ひ がこの鐘に込められて いて、お寺のことを考 えている。梵鐘を鳴らす時 えてくださったのでは ないだろうか」と話す。 同寺では戦後間もな 届ける思いで大切にし ている。今なお絶えな い紛争や戦争がなくな り、人々の心に響く平 和の音色であってほし い。コンクリート製の 梵鐘というような、こ んな悲しいものを後世 に残すようなことを二 度としてはならない」と 壬生住職は哲雄前任 職と顔を見合わせ語っ た。 現在も同寺の鐘楼の そばにコンクリート製 の梵鐘が置かれている (写真右)。